

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	免疫チェックポイント阻害剤による抗腫瘍効果と血清マーカーの後方視 的検討
	研究目的	免疫チェックポイント阻害剤による抗腫瘍効果および免疫関連有害事象 の発症と治療前の血清検査所見および背景因子との関連を明らかにする。
	研究対象者	2015年12月から2019年3月の間に神奈川県立がんセンターで、免疫チ ェックポイント阻害剤による治療を受けた非小細胞肺癌患者
	研究期間	西暦 2019年6月12日 ~ 西暦 2022年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を 利用します)		[X] 血液 [] だ液 [X] 臨床検査データ [X] 病理組織 [] 排泄物(尿・便) [] その他(記載して下さい) [] 毛髪 [X] 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	村上 修司
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	呼吸器内科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし